

●ミニッツカップ モーターチェック手順(車検)

ファイナルチャンピオンシップ代表権「あり」のクラスのみで実施。

ファイナルチャンピオンシップでは全クラスで実施。

京商製KRFモーターチェッカー(No.36213)を使用し、電圧は4.8Vで実施。

測定は京商車検スタッフが行う。

◎規定回転数

XSPEEDモーター

最高回転数 : 35000rpm

正逆回転数差 : 2000rpm

ノーマルモーター

最高回転数 : 34000rpm

正逆回転数差 : 2000rpm

○練習

基本的に行わない。

○予選(各ヒート1位の選手のみ実施)

車検BOXに送信機と車両を入れる(1位専用車検BOX)。

マーキング(車検スタッフがランダムにマーキングを行います)

マーシャル後、車検場で「車検スタッフ」または「選手」がモーターを取りはずす。

取りはずせない

回転数測定(正回転/逆回転) → NG → 車検落ち(そのヒートの記録を抹消)

OK(正式記録)

※ 1 車検スタッフが取りはずせない場合は選手が取りはずす。

○決勝Bメイン以下(上位メインに勝ち上がりの選手のみ実施)

車検BOXに送信機と車両を入れる(1位専用車検BOX)。

車検場で上位メイン勝ち上がり選手のモーターを「車検スタッフ」が取りはずす。

回転数測定(正回転/逆回転) → NG → 車検落ち(失格)

OK(正式記録)

※上位勝ち上がりの選手が失格となった場合、勝ち上がりは行わない。

○決勝Aメイン(1位から順番に実施)

車検BOXに送信機と車両を入れる。

車検場で上位3名の選手のモーターを「車検スタッフ」が取りはずす。(4~6位の車体は車検場に確保)

回転数測定(正回転/逆回転) → NG → 車検落ち(失格)

OK(正式記録)

※失格者が発生した場合は、4位以降を再度確認する。Aメインにて3名以下の車検合格者が得られなくてもBメインからの繰上げは行わない。